

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-〇〇〇〇
施設名	さくらんぼ保育園
施設所在地	府中市 1 - 2 8 - 1
法人名	社会福祉法人紅葉の会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

魚

<テーマの設定理由>

鯉を観察、触れ、食した事から魚に興味を持つようになった。

2. 活動スケジュール

6月3日 鯉の観察、 6月6日養沢センターにて魚のつかみとり、 9月10日水族館遠足 9月11日、12日、13日魚の絵を描く

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

食用の鯉、絵具、画用紙、魚の図鑑、川での魚のつかみとり遠足（バス）、 水族館への遠足（バス）

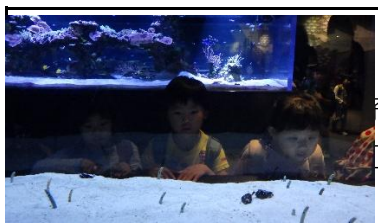
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・鯉を観察し、実際に触れてみた。食べてみた。
- ・川に離れたマスを自分の手でつかんだ。その場で魚をさばいている所を見て食べた。
- ・魚の図鑑で魚の種類を調べてみた。
- ・水族館で、図鑑で見た魚を実際に観察した。
- ・絵具を使用し、自分が描きたい魚を描いた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
- ・生きている魚を捕まえることは容易ではなく、魚がどのような動きをし、どのくらいの力でつかめばよいのか実際に観察しながら捕まえていた。
 - ・食事中、「命を頂く」という言葉がでてきた。
 - ・水族館で、ちんあなごがえさを食べる場面が印象的な子どもが多く、絵を描いていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・生きた魚に触れ、自分で捕まえ、捕まえた物を食べる経験はとても強い印象を与えた。食育にもつながった。
- ・水族館で生き物を観察するだけでなく、ちんあなごのえさやりを観ることで、小さなえさをどのように食べるのか集中してみていた。後日、どのようにえさを食べていたか思い出し、話しをしている姿が見られた。